ぼくの大切な歯

印西市立木刈小学校　三年　角地　輝星

ぼくは、子どもの歯が生えてから9さいになるまでに6本の歯が生えかわりました。小さい時からぬけるごとに、上の歯は下に、下の歯は上になげました。投げる時に歯のけんこうやおねがいごとをいのりました。

ぼくにとって歯は、

①食べるのにひつような物。

②力を入れる時歯を食いしばる物。

まず一つ目に食べるのにひつような物といったのは、赤ちゃんの時からぼくのせい長に合わせて食べるものがかわりました。

赤ちゃんの時は、やわらかい食べ物から始まって今では固い食べ物でも食べられるようになりました。

次に二つ目の力を入れる時歯をくいしばるの、ボールをけったりなげたり、重い物を持った時に歯に力を入れます。歯に力を入れて重い物を持つと体にしっかり力が入ります。

重いものもちゃんと持てます。

子どもの歯からはえかわり、ぼくの体のせい長にも合わせて歯が上丈夫なことは大事だと思います。

大事な歯を一本でも多くおじいちゃんになるまでのこすには、食べたあとに歯をみがく。ていきてきに歯医者にみてもらってむし歯があればすぐに直してもらうようにします。

しょう来のぼくがけんこうでいるためには、食べ物をしっかりかみくだける歯を多くのこすことが大切です。白くてきれいで丈夫な歯を作るためにぼくは、毎日かかさずていねいにこれからも歯をみがいていきます。